

プレアヴィヒア ナチュラルプロジェクト

日本カンボジア文化産業振興会

キャットフィッシュの収穫間近



8月から育成をスタートしたキャットフィッシュの収穫時期が近くなり、ワーカーの方々と魚の育成状況やコンディションのチェックを行い販売スタートの時期を決めていきます。東南アジアではよく食べられる魚種にあたるキャットフィッシュは、消費者に人気のサイズまでの育成は約3ヶ月で出荷が可能といわれています。しかし、育成期間中は雨季にあたり、例年より雨の降る日が多かった事で餌を食べない日が続いた事や、雨で水温が低下してしまったこともあり、魚のコンディションは良いものの成長が予定より遅れている状況となりました。



11月下旬からは雨の降る日も少しずつ減少していき、水温も少しずつ上がりだしたので、遅れを少しでも早く解消できるようチーム一丸となって取り組んでいます。8月から定期的に新しい稚魚の育成をスタートさせ現在は3つの池でそれぞれサイズの違うキャットフィッシュを育成しています。環境は同じなので全体的に成長に遅れが出ていますが、それぞれキャットフィッシュのサイズに合わせて餌を変えたり、水の入れ替えや雨季で大きく育った雑草の草刈りなど日々ワーカーも頑張ってくれています。

編集後記

プレアヴィヒア寺院

養殖事業を行っている村から更に北にのぼってタイとの国境に位置する世界遺産の寺院です。別名「**天空の寺院**」と呼ばれることもあります。プレアヴィヒアとはクメール語で「神聖な寺院」という意味になります。過去にはタイとの領地争いもあり、遺跡にも紛争が行われた跡も残っていますが、現在は観光がスムーズに行える整備も進んでいます。各所に残るレリーフの数々、遺跡を抜けて最奥の断崖山頂から眺望出来る絶景は、雲の動きや太陽の傾きとともに常に表情を変え、時間が経つのを忘れて心が吸い込まれていきます。

